



# 根知小だより

糸魚川市立根知小学校  
 〒949-0531  
 糸魚川市東中 5121-1  
 TEL 025-558-2100  
 Fax 025-558-2109  
 Mail  
 nech@itoigawa.ed.jp

## ◇2学期の振り返り 教育目標『考える子 助け合う子 がんばる子』から

根知小学校の教育目標は『考える子 助け合う子 がんばる子』です。学校沿革誌によると平成6年までは「がんばる子」は「強い子」で今から28年前に今の教育目標に変わりました。私が教員として採用された頃です。以来、年度の重点目標は変わりつつも、この教育目標の基、根知小の教育活動は進められてきました。基礎基本の定着、自ら学ぶ力と豊かな心の育成、体力向上のために、地域と関わり、分かる授業や思いやりのある言葉遣いの定着と温かい学級学校作りを進め、望ましい生活習慣について学んでいます。全ての学習活動は、この『考える子 助け合う子 がんばる子』の教育目標の実現を目指して行われていることを改めて、この2学期の終わりに感じるどころです。翻って今学期の根知小の姿を振り返ると、少人数でも工夫し「考え」各行事に全力で取り組む子どもたちの姿、楽しい学校を作ろうと協力し「助け合って」準備して全校遊びを企画する姿、他校との交流活動や地域の行事に積極的に参加して「がんばる」姿が見られました。すでに学校便りでもお知らせしたとおり、児童数の減少という課題に直面し、それを現実的にも感じながらも、ふるさとに学び、たくましく生きる子どもたちが育っていることを感じます。もちろん、すべてが順調に育っているとは言えません。新潟県が今後目指す「ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとづくり」は大きな目標ですし、そのためのICTの活用、対話のある学び、児童生徒が主役の授業作りを推進していくことや人権教育、同和教育を中心に、自他を大切に行動できる子どもたち、いじめをしない、許さない、命を大切に意識を醸成していくことが、さらに必要でもあります。



1年を振り返る12月。「振り返る」ことの中には、できたこと、できなかったことを整理し、来年に向けて、自分の準備を進める意味もあります。反省や後悔ではなく、自省すること、良し悪し関係なく自分の行動を振り返り、自分の価値観や在り方を見つめ直して考えることが大切かと思います。子どもたちがよい振り返り、自省できるよう残り1週間、指導していきます。

## ◇1月のおもな行事予定 今年も大変お世話になりました。

良いお年を  
お迎え下さい

1日(月)	元日	15日(月)	根知っ子いきいきカード③(～21日)
2日(火)～	学校閉庁日	18日(木)	避難訓練③
3日(水)		19日(金)	スキークラブPM
8日(月)	成人の日	24日(水)	NRTテスト(国語、社会)
9日(火)	3学期始業式	25日(木)	NRTテスト(算数、理科)
10日(水)	校内書き初め大会、委員会	26日(金)	スキー教室①
12日(金)	中学校体験入学	29日(月)	ワーケーション児童来校(1/29-2/2)



## ◇『未来を考え、継続し、夢を叶える』(12月6日全校集会講話より)

2学期も残すところわずかになりました。楽しい冬の雪遊びやウィンタースポーツの時期も近付いてきています。さて残り十日ほどですから、これから何かめあてや目標をもつお話は合わないかなとも思いますが、今日は3日の日曜日に、久しぶりに長野で会ったお友達、一回り年下ですけど大学院のとき隣で絵を描いていた竹内君を紹介しようかと思えます。

絵を描くという仕事は、画家といいます。みなさんも想像してもらえばわかるように、そんなに毎日、絵を買うわけでもないですし、一般的にとても値段が高価です。当たり前ですが、何十万、何百万という作品を買えるのは、お金もちの人や会社や病院、施設などですね。ですから、それで食べていく、仕事にする、画家になるということは、とても厳しい道のりです。詳しくはわからないけれど、漫画家などよりも職業としては難しいように思います。いろいろな展覧会で入選したり、たくさん絵の団体の中で認められ、会友、準会員、会員とランクが上がったりしながら、画家としての道を切り開いていく必要があります。毎年、大きな200号(2m59cm×1m94cm)の絵を描いて出品を続ける必要もありますし、その他にも材料費、輸送運搬費、出品料などもかかります。何よりも膨大な制作時間と、制作に打ち込む集中力が必要です。中途半端な好きでは続かないし、前にもお話した「好きを続けること」、それを何年も何年も続ける努力や継続、意志の強さ、それでもどんなに好きで続けても画家にはなれない人が、たくさんいる世界です。校長先生が大学院の時に知り合ったので、かれこれ20年来の付き合いですが、竹内君は、その夢を目指してそれをずっと続けています。竹内君の絵をほんの少しだけ紹介します。こちらは、花の絵、猫の絵も可愛らしいですね。ほおずきもよくモチーフにしています。今回、校



長先生がいいなと思った作品はこちらの蝋燭の作品。みなさんも先生方から聞いているかもしれませんが、先々週の21日に自分のお父さんを亡くして心が痛んでいましたので、ずっと見ていた蝋燭とも重なり、とても癒される気持ちになりました。画廊の社長さんも、竹内君の作品は色がすごく出ているとお話されていましたし、蝋燭もよいモチーフだとほめてもらっているようです。この川の作品は大学院の時も見たので、長く変わり続け、よくなっている作品です。背景がふんわりと変わったところや石や雪のマチエールが厚くなるにつれて、作品の迫力、重みが増していることがわかります。作品に画廊がつき売れるようになると自分では値段がつけられなくなり、勝手に売れることもできないし、自分が作りたい作品と発表したい作品、売り絵などのバランスも難しいというお話も興味深かったです。また、竹内君は生まれるときに小さく生まれたため、視力が0.1もありません。キャンバスに描くときには、いつも画面に目一杯顔を近付けて一生懸命に描いていました。これも本当にすごい、とてもここまでできない真似できないと思って、校長先生は描くことを諦めたようなところもあります。

さて、雨垂れのような小さな水滴でも、長い間同じところに落ちつづけければ、ついには堅い石をも溶かすという『水滴穿石』「すいてきせきせん」、「みずしたたりていしをうがつ」という中国の『漢書』をもとにした四字熟語があります。竹内君の絵画制作に取り組む姿は、まさにその姿で、毎日の努力を根気良く続けていれば成果を得ることができることを、本当によく生き方の中で実践しており、その生き様を校長先生は尊敬しているところもあります。

みなさんは、どんなことを長く続けていますか、これから何を長く続けようと思っていますか、それを続けることでどんな将来や未来を描いていますか。ちなみに校長先生は、美術を専門にしてから30年、バレーは中学高校大学から32歳までの20年間、スキーは根知に来てからの25年間、自転車は最近で、ここ5年ぐらい、ピアノはさらに最近でここ50日間毎日、英語はやったりやらなかったりでうまくいきません。筋トレも週2、3回がだいぶ続いて、体が少し大きくなりました。始めたことはなるべく長く続けるようにしています。

長く続けたことは必ず自分の力になります。勉強も運動も好きなことも同じです。『水滴穿石』「みずしたたりていしをうがつ」の精神で、みなさんも自分の個性やよさをのばし、ぜひ粘り強く、長く自分の挑戦を続けてほしいと思います。(後半略)※コロナを感染させることになった身近な人の後悔について話しました。感染症には十分、御注意ください。

